

道徳科学習指導案

令和2年10月 第2学年 指導者 荻野 裕介

1 主題名 規則の役割 内容項目 C-(10) 遵法精神、公德心

2 教材名 「美しい鳥取砂丘」 (出典：日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、中学校学習指導要領解説「特別の教科 道徳編」の内容 C-(10) 遵法精神、公德心をねらいとしている。民主的な社会においては、互いの権利を守り、調和的な生活を保障するために、公平な立場の議会や国会が規則や法を定める。そして、それらを守ろうとする遵法精神は、社会生活の中で守るべき正しい道である公德を大切にすることによって生み出される。したがって、社会は、より民意を大切にしたい法とそれを守ろうとする善良な市民の協調によって成り立っている。法やきまりがなぜ守られないのかというところから、よりよい生き方を見つめることは、中学生にとって大切なことである。

(2) 生徒の実態について

生徒の実態として、学校の校則や学級のルールなど、きまりを守って生活できる生徒が比較的多い。しかし、「きまりがあるから」という理由で守る生徒が多く、きまりの意義を理解し、それらが守られていることで、自他の生活が守られているという意識は希薄である。そこで、きまりの意義について考える活動を通して、きまりによって自分たちの生活が守られていることを理解し、よりよい生き方について考え、きまりやルールを守っていこうとする態度を育てられるようにする。

(3) 教材について

国の天然記念物に指定されている鳥取砂丘に、景観を損ねるような落書きが頻繁になされている現状がある。本教材では、落書きに出くわした主人公の家族が、どうしたら落書きをなくせるのだろうかを考える。そして、すでに落書きを規制する条約があることを知るが、それでも落書きがなくなる現状を知り、悩んでしまうというものである。法やきまりを、自己の自由や権利を束縛するものと考えた中学生は少なくない。なぜ法やきまりがあるのかを考えることができるこの教材を通して、よりよい生き方について考えられるようにする。

4 指導方針

○本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつために

- ・鳥取砂丘で撮られた写真を提示することで、天然記念物として認められている美しさを実感することができるようにする。

○教材を通して、道徳的価値の追求を行うために

- ・罰金があるにも関わらず落書きがなくなる理由を考えさせることで、法やきまりがあっても自分の欲望に負けてしまう人の弱さを考えることができるようにする。
- ・登場人物のよりよい行動を考えさせることで、よりよい生き方について考えられるようにする。
- ・思考ツール(座標軸)を使うことで、自他の考えを可視化し、比較して考えることができるようにする。

○本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返るために

- ・「今までは、授業から、これからは」の三つの振り返りの視点を与えることで、自分のこれまでの生活を振り返り、よりよい生き方について考えられるようにする。

5 本時の展開

(1) ねらい

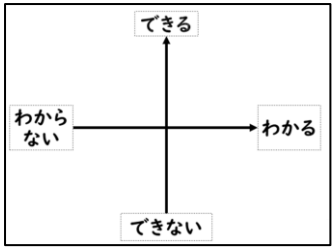
互いに住みよい社会をめざす精神の大切さを理解し、法やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。

(2) 準備

教師：教科書、パワーポイントのスライド、パワーポイントのためのモニタ

(3) 展開（○発問 ◎中心発問 ◇補助発問）

学習活動と発問	時間	予想される生徒の反応	支援及び指導上の留意点 ◎研究上の手立て
1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。 ○どんな法やきまりがありますか。	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・制服を着る ・授業のルール ・飲酒は20歳から ・学級のルール 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒を指名し発表させることで、主体的に授業に取り組めるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">めあて 法やきまりがあるのはなぜだろうか？</div>			
○めあてについて、今の自分の考えをノートに書きましよう。		<ul style="list-style-type: none"> ・平和のため ・悪いことをしないため 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前の考えを書かせ、授業での変容を可視化することで、授業で学んだことを実感できるようにする。
2 教科書の教材文の範読を聞く。 3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。 ○「私」は、落書きを見てどう思ったでしょう。 ○なぜ落書きをしてしまうのでしょうか。	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・がっかり ・落書きをする人は許せない ・落書きを悪いことだと思っていないから ・条約を知らないから ・いけないことだと分かっているけど、やりたい気持ちに負けてしまうから 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取砂丘の写真を提示することで、天然記念物として認められている美しさを実感できるようにする。 ・「私」の考えに着目させることで、落書きを見ている人の気持ちに気付かせる。 ・条約があっても落書きが行われる理由を考えさせることで、法やきまりがあっても自分の欲望に負けてしまう人の弱さを考えさせる。 ・同じ意見の生徒に挙手を求め、発言者以外の生徒も意思表示できるようにする。
○落書きをした人はどんな行動をすればよかったのでしょうか。 (教材におけるよりよい生き方を考える)		<ul style="list-style-type: none"> ・やりたくても、他の人のことを考えて我慢する ・周りを見て判断する 	<ul style="list-style-type: none"> ◎登場人物のよりよい行動を考えさせることで、よりよい生き方について考えられるようにする。 ・同じ意見の生徒に挙手を求め、発言者以外の生徒も意思表示できるようにする。

<p>◎落書きについて、自分だったらよりよい行動がとれるでしょうか。</p>  <p>◇その立場の理由を聞いてみましょう。</p>	12分	<ul style="list-style-type: none"> ・条約の意味は分かるけど落書きすることを我慢できないかもしれない。 ・条約の意味は分かるし、落書きすることを我慢できる。 ・条約の意味は分からないがきまりは守る。 ・条約の意味が分からないし落書きすることを我慢できない。 	<p>◎思考ツール（座標軸）を黒板に描き、自分の立場の場所にネームプレートを貼ることで、自他の考えを可視化する。</p> <p>◎思考ツール（座標軸）を使うことで、自他の考えを、可視化し比較して考えることができるようにする。</p>
<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてももう一度考える。</p> <p>○日常生活を振り返って、きまりがあるのに守れないことはないですか？ (自己を見つめる)</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学級のルールを守れていないときがある ・ゲームの時間を守れていない ・自分や他人に迷惑がかかっているかもしれない 	<p>◎日常生活を想起させ、わかっているけどできない、人間の弱さを理解させるためにゆさぶる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「法やきまり」の必要性や他の人に迷惑をかけることなどに気付けるようにする。
<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>○今日の授業を通して、めあてについてどんなことを考えましたか。「今までは、授業から、これからは」の三つの視点で振り返りをしましょう。 (自己のよりよい生き方を考える)</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで、だめだと思っても自分の都合で行動することがあった。 ・授業から、他の人のことまで考えることの大切さを知った。 ・これからは、きまりの意味を考えて行動したい。 	<p>◎「今までは・授業から・これからは」の三つの視点を与えることで、自分のこれまでの生活を振り返り、よりよい生き方について考えられるようにする。</p>

(4) 評価の視点

○「法やきまり」の意義を踏まえた上で、具体的な行動指針がノートに書かれている。

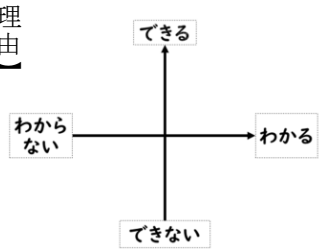
(5) 板書計画

十月〇日
 第〇回「美しい鳥取砂丘」

法やきまりがあるのはなぜ？
 なぜ落書きをしてしまうのか？

・楽しくなってしまうから
 ・落書きを悪いことだと思っていないから
 ・条約を知らないから
 よりよい生き方は？

・やりたくても、他の人のことを考えて我慢する自分だったら？



【理由】

- ・だめだとわかっているけど、なかなかない機会だからやってみよう。
- ・美しい景色を見に来ている人が周りにいるのでやらない。

振り返り